

令和7年度学校運営改善等助成事業（研究助成）における研究分野の希望調査（結果）

【調査対象者】

会員校の専任教員

【実施期間】

令和6年9月17日(火)～10月11日(金)

【回答件数】

108件

【質問項目】

設問1. 養成施設名

設問2. 氏名

設問3. 解決すべき課題があると思う分野について（複数選択）

設問4. 御校の柔道整復師養成教育において直面する具体的な課題（自由記述）

設問5. 御校の柔道整復師養成教育において中・長期的に解決すべき課題（自由記述）

設問6. 柔道整復師養成教育に関して取り上げてほしいと思う課題（自由記述）

【調査結果】

設問1. 養成施設名

養成施設名	回答数（件）	養成施設名	回答数（件）
近畿医療専門学校	10	中央スポーツ医療専門学校	4
大宮呉竹医療専門学校	9	専門学校浜松医療学院	4
スポーツ健康医療専門学校	7	新宿医療専門学校	4
明治東洋医学院専門学校	6	東京メディカル・スポーツ専門学校	3
平成医療学園専門学校	6	東京呉竹医療専門学校	3
九州医療スポーツ専門学校	6	大川学園医療福祉専門学校	3
中和医療専門学校	5	アルファ医療福祉専門学校	1
河原医療福祉専門学校	5	九州医療専門学校	1
東洋医療専門学校	5	福岡医療専門学校	1
四国医療専門学校	5	横浜呉竹医療専門学校	1
京都医健専門学校	5	朝日医療大学校	1
専門学校沖縄統合医療学院	5	仙台赤門医療専門学校	1
森ノ宮医療学園専門学校	5	東京医療福祉専門学校	1
		日本工学院八王子専門学校	1

設問 2. 氏名

省略

設問 3. 解決すべき課題があると思う分野について（複数選択）

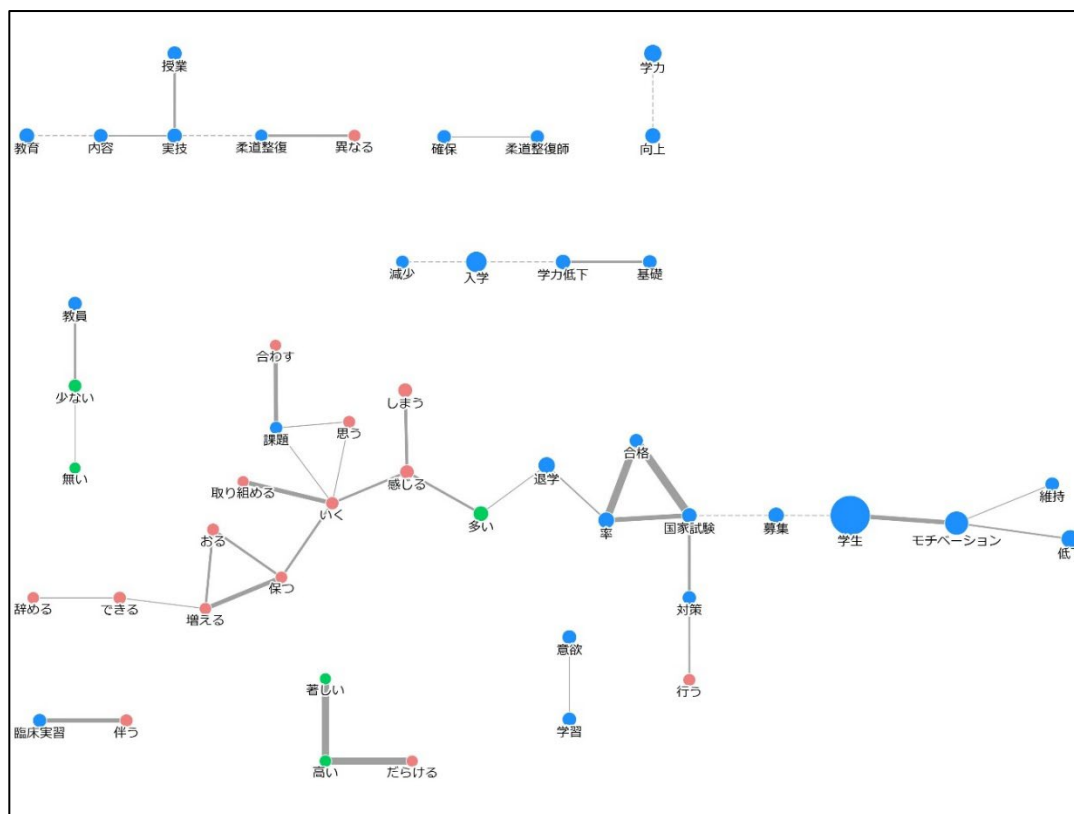
	課 題	回答数（件）※複数選択可
選択肢	学生のモチベーション	62
	学生募集	45
	教員の教育力	35
	実技教育	32
	臨床実習	32
	教科書，教材	29
	国家試験対策	28
	遠隔授業	22
	学生の評価	18
その他（自由記述）	学生の個性	1
	学生の基礎学力向上	1
	機能訓練指導	1
	接骨院運営学	1
	入学前学習（学力低下，読解力，理解力低下）	1
	中途退学	1

＜ワーククラウド＞

単語の色は、品詞の種類で異なる。青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、形容動詞、灰色が感動詞

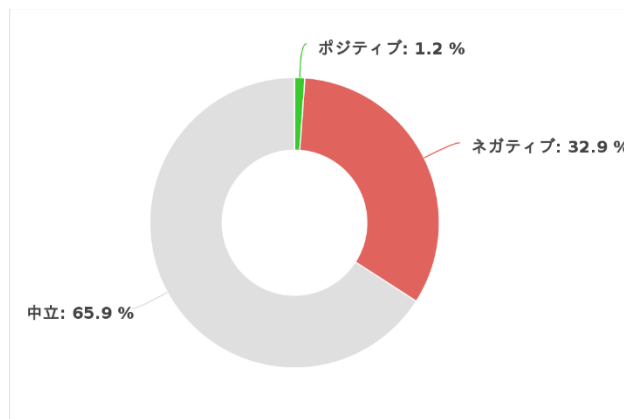


出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度は強い方から順に太い実線 > 細い実線 > 破線 で描画される。



<ダイジェスト>

- ・募集定員が充足していない.
- ・学生募集について, 非常に苦勞している.
- ・入学生の学力低下と入学後の対応策
- ・入学時からモチベーションの低い学生の対応
- ・新入生の低学力化, 2 年次のモチベーション低下
- ・学生のモチベーション低下へのアプローチ方法



<まとめ>

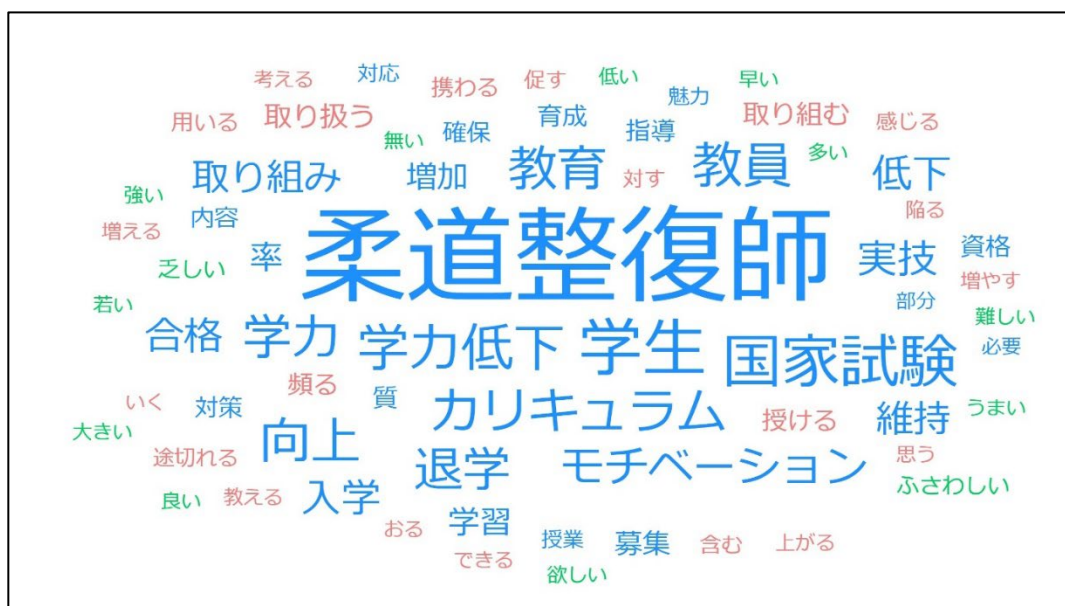
- ・入学者の質の低下
入学希望者の全入が進んでおり, 基礎学力や意欲が不足している学生が増加している. これにより, 入学後の学業不振や進路変更がみられる.
- ・モチベーションの維持
学生のモチベーションが低下しており, 特に 2 年次に顕著である. 学校側は, モチベーションを維持するための対策が必要とされている.
- ・退学率の増加
学生の意欲の低下や学力不足が退学につながっており, 退学者数の増加が問題視されている.
- ・教育方法の見直し
学生の学力差に応じた効果的な教授方法の模索が求められている.
- ・基礎学力向上の必要性
学生の基礎学力向上とモチベーション維持が急務である.

<結論>

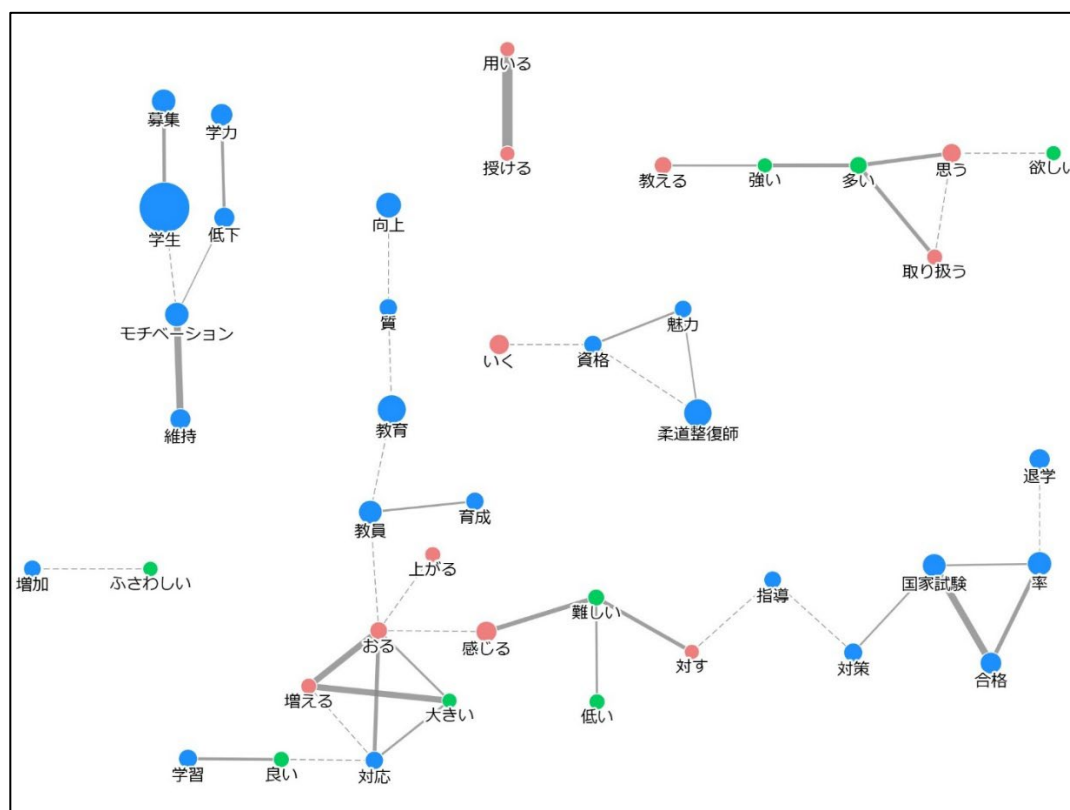
学生の学力とモチベーションの低下が深刻な問題であり, 学校側はその改善に向けた具体的な対策を講じる必要がある.

設問 5. 御校の柔道整復師養成教育において中・長期的に解決すべき課題（自由記述）

<ワードクラウド>

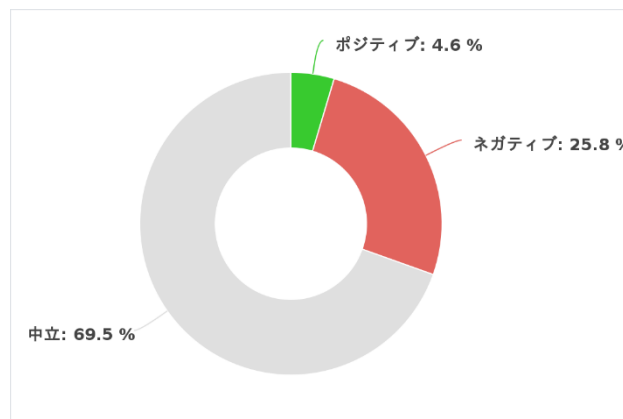


<共起キーワード>



<ダイジェスト>

- ・ 学生募集
- ・ 退学率，休学率の増大
- ・ 学力低下とその対応
- ・ 国家試験合格率の向上
- ・ 医学的な基礎学力向上と臨床能力の向上



<まとめ>

- ・ 学生募集と退学防止

学生募集の難しさが増しており，学生募集がうまくいかなければ学園全体として設備や教育に対しての投資が消極的になり悪循環に陥る．

- ・ 学力低下とその対応

学生の基礎学力が低下しており，国家試験の問題レベルが上がる中，学生として入学される方達の基礎学力は低下しており，国家試験合格率が上がらない状況である．

- ・ モチベーションの維持

学生のモチベーションを維持することが重要で，国家試験に合格したい気持ちを途切れさせないように，また退学する学生を減らす．

- ・ 教育の質の向上

教員の指導力や教育内容の見直しが求められ，先生によって教育の質に差があると毎年のように学生から相談を受けている．

- ・ 臨床実習の充実

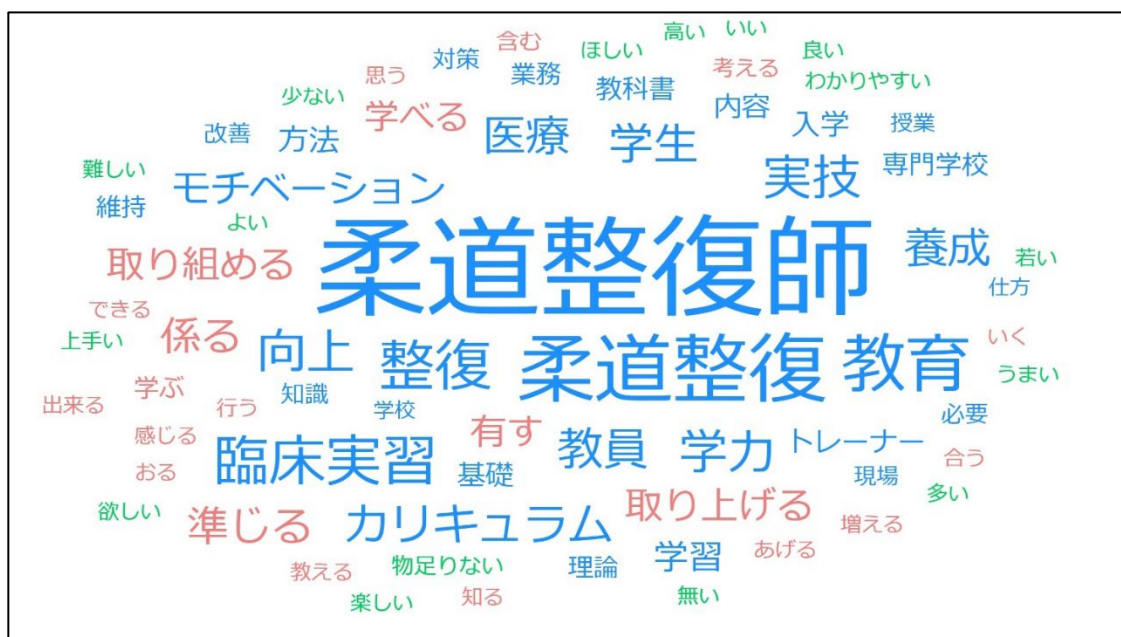
実習の質を向上させる必要があり，「臨床実習の充実化（指導者含む）」が求められている．

<結論>

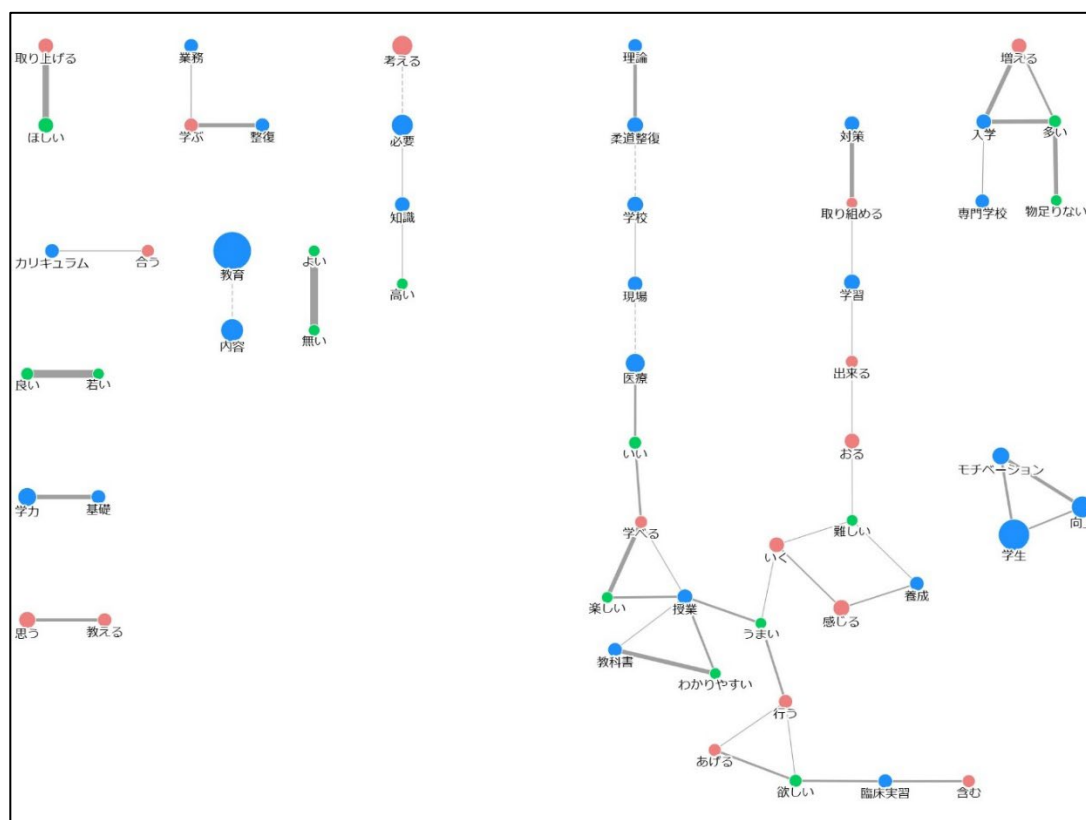
柔道整復師養成教育においては，学力向上，学生募集，モチベーション維持，教育の質向上，臨床実習の充実が重要な課題として挙げられている．

設問 6. 柔道整復師養成教育に関して取り上げてほしいと思う課題（自由記述）

＜ワードクラウド＞

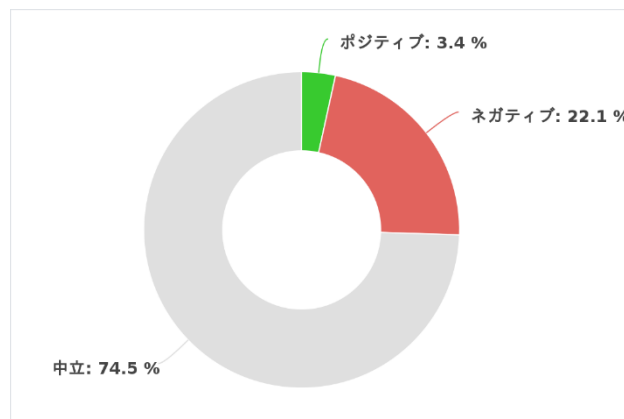


＜共起キーワード＞



<ダイジェスト>

- ・学生のモチベーション維持，向上の方法
- ・人とのコミュニケーションや距離感の取り方
- ・専門学校教育における基礎学力の低下と対策
- ・現場に必要な知識技術と学校教育の乖離
- ・教育カリキュラムと卒後の実務内容の乖離



<まとめ>

- ・学生の学力とモチベーション

「低学力者への学習方法」や「学生面談のやり方，モチベーション向上に繋がる話し方」といった，学生の学習意欲を高めるための具体的なアプローチが必要とされている。

- ・人間教育の重要性

「医療の一翼を担う柔道整復師として社会で活躍するためには，高い人間性を備えていることが必要」とし，人間教育への注力が必要とされている。

- ・実技教育の充実

実技教育をいかに充実した内容で提供するかという課題に対して，実技力向上のための指導方法の改善が求められている。

- ・教育と現場の乖離

「学校で教えるべき柔道整復の内容と，実際の臨床現場で行われているスキル・施術内容に乖離がある」との指摘があり，教育内容の見直しが求められている。

- ・カリキュラムの見直し

「時代に合ったカリキュラム編成」や「柔道整復師の将来性」についての議論があり，現代のニーズに応じた教育内容の改善が求められている。

<結論>

柔道整復師養成教育に関する多岐にわたる課題が挙げられ，教育内容の充実や現場との整合性を図る必要性が強調されている。